

平成26年
7月号



6月25日発行

特定非営利活動法人 ワーカーズコープ

森下ふれあいセンターだより (森下分館)

住所：江東区森下5-11-1 電話番号：5624-6030

開館時間：午前9時～午後5時 休館日：第2・4日曜日

ホームページ：<http://kotoroufuku.web.fc2.com/>

茶のみばなし(不定期掲載)

●深川生まれ話芸一代(前篇)

無声映画の活動弁士として、歌謡曲の司会の先駆者として、その名調子を知られた西村小楽天(本名・田川実)は、明治35(1902)年12月4日、当時の深川区洲崎弁天町(現在の江東区東陽一丁目)に生まれました。当時の洲崎は明治時代にそれまで根津にあった遊郭が移された地で、大正時代の末には300もの遊郭あったといえます。西村はそこで引手茶屋を営む母と母方の祖母に育てられました。江戸時代からの遊郭のしきたりとして、遊客が大店(おおみせ)と言われる高級な妓楼に行くためには、まず引手茶屋で芸者や幫間を呼び、料理屋からご馳走を取り寄せて宴会をして、引手茶屋にも祝儀を包んでから、初めて茶屋の人に案内されて登楼することになっていました。尋常小学校4年のとき、親戚の借金が原因で母は店を廃業、一家は大塚に引っ越しました。大正初期のこの当時、小学生の実少年を夢中にさせたのは浅草六区の活動写真(映画)でした。当時の映画は無声でしたが、上映の際には映像に合わせて音楽が演奏され、活動弁士が上映の前に作品に関する説明(前説)をし、上映中は登場人物のせりふを語り、物語を説明をしました。弁士が作品の人気を左右するほどの人気で、実少年が憧れたのは洋画の封切り館だった帝國館の弁士・西村楽天でした。当時まだ「漫談」という言葉はなかったと思いますが(ちなみに「漫才」という表記もなく、「万才」でした)、小楽天の自伝には楽天が前説のときに面白おかしい話をして観客を笑わせていたことが記されています。無声映画の末期から発声映画の初期、楽天も含めて弁士が漫談家になったことの起源は無声映画の前説にあったのかも知れません。小学校卒業後、15歳で父とともに浅草にあった楽天宅を訪れて弟子入り。以後6年間は内弟子として師の下にありました。この師匠には可愛がられ、才能も買われていたのでしょう。実少年が17歳のとき、他の兄弟子たちの芸名は下の名にせいぜい「楽」の字が付けられていた程度でしたのに、「西村小楽天」という師匠の後継者と受け取れる芸名を授けられました。内弟子生活を終えて大正12年に1度目の結婚をしてから同年9月の関東大震災までの半年ほど、ふたたび深川に住んでいました。楽天の内弟子時代から、日本館という活動写真館に勤めていたこの時期まで、小楽天は洋画専門のの弁士でした。当時は世界の映画の主流がヨーロッパからアメリカの作品に移って行った時期でした。昭和に入ると、浅草帝國館の主任弁士で、戦前から戦後にかけて各レコード会社に映画説明や「藤山一郎傑作集」・「東海林太郎愛唱歌集」など、名文句の説明(ナレーション)をレコードに吹き込んだ静田錦波に誘われて、松竹キネマ株式会社の封切り館だった帝國館に迎えられました。この移籍によって洋画から邦画の説明に移ったわけですが、昭和初期の松竹映画は、現代劇の製作は「虹の都光の港キネマの天地」と歌われ繁栄していた蒲田撮影所、時代劇は京都の下加茂撮影所、ここでは林長二郎(のちの長谷川一夫)が華々しくデビューし、世間の注目を集めていました。監督は現代劇が野村芳亭、牛原虚彦、島津保次郎、五所平之助、清水宏、小津安二郎(深川生まれ)等、時代劇が衣笠貞之助、井上金太郎(深川生まれ)等、新旧の名監督が次々と作品を発表して腕を競っていました。小楽天はその松竹の封切り館の若手弁士でしたから、当時の人気と実力のほどは察して余りあります。(次号・後篇に続く) SH記

通信カラオケについてのご案内

5月22日(木)に発生したカラオケ配信サービスの障害で通信カラオケが使用出来なくなっておりましたが、サービス復旧の目処が立たず、終了する運びとなりました。多大なご迷惑をおかけし、深くお詫び申し上げます。また、新たな通信カラオケサービスを、7月中に導入致します。(レーザーディスクカラオケは使用可能です。)引き続きご利用よろしくお願ひ申し上げます。

森下ふれあいセンター 7月の予定

健…健康相談 1,3水曜 1:00~4:00 ●…事前申込が必要な行事など
 印がないものは受講生確定済みの為、受講生以外の参加は出来ません。

日	曜	午 前	時間	午 後	時間	健	
1	火						
2	水					健	
3	木						
4	金			悠々英会話	2:00		
5	土						
6	日						
7	月						
8	火			水墨画	2:00		
9	水	囲碁入門	9:30				
10	木						
11	金			日本文学	2:00		
12	土			● シネマ倶楽部	1:30		
13	日	休 館					
14	月						
15	火						
16	水	囲碁入門	9:30			健	
17	木						
18	金			悠々英会話	2:00		
19	土						
20	日						
21	月						
22	火			水墨画	2:00		
23	水	囲碁入門	9:30				
24	木						
25	金						
26	土			● シネマ倶楽部	1:30		
27	日	休 館					
28	月						
29	火						
30	水						
31	木						